

**人権ポスター
標語**
人権週間
12月4日~10日

入選作品

倉敷市人権ポスター入選作品

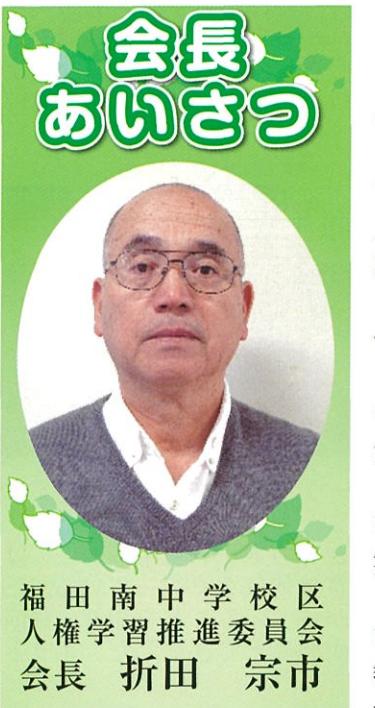
素晴らしい作品をご応募いただきありがとうございました！

**人権ふれあい交流事業
ひなかざり**
2月19日(土)→3月6日
素敵な作品をありがとうございました。
来館者に大変喜ばれました。

福田南公民館の七段飾り
第一福田幼稚園児の手作りひょうたんひな人形
デイサービスの利用者の手作りおひなさま

**人権だより
福 南**
第51号
地域の人と人の繋がりを大切に

発行/福田南中学校区人権学習推進委員会
事務局/倉敷市福田南公民館 電話・FAX086-456-2467

**「人権学習」**

この原稿を書いているのは一月の初旬です。新型コロナウィルスの感染者は、オミクロン株の影響もあり、日に日に増えている状況にあります。

昨年四月からの今期を振り返ってみると、五月の第四波、八月の第五波のコロナウィルス感染者数増加の影響で、私達の生活は様々な場面で制限を受け、人権学習推進委員会の活動も中止や延期を余儀無くされました。十月に入って感染者数が減少し、暫く落ち着いていたので、十二月に「人権教育講演会」と「交流会」を開催する事ができました。こうした活動は人権学習に於いて欠かせないものです。

現在の人権に関する環境は、部落差別解消だけではなく、SNSによる誹謗中傷、新型コロナウィルス感染者への嫌がらせなど、人権を侵害する形や種類が多様化しています。ここで人権の定義についてある人の言葉を紹介します。

「人権とは、全ての人の尊厳、平等、安全を確保すること。」とても分かり易い表現ですが、日本・世界のニュースを見聞すると、これに当てはまらない事案が如何に多いか思い知らされます。

人権教育に熱心に取り組むある県では、教育を「思いやり」や「優しさ」といった観念的、抽象的な学習に終わらせない為に「差別の実態に深く学ぶ」姿勢を大切にし、座学だけではなくフィールドワーク研修を続けているそうです。私達の人権学習推進委員会でも、年1回の研修視察で、人権を侵害された歴史がある場所や人に直に接する事で、第三者からの話では感じ取ることが出来ない深い感慨が得られたと思います。このように、人権学習は、人、場所に触れあってこそ、その効果が得られるものと思います。一日も早くコロナ渦が終息し、社会生活や、人権学習の活動が再開される事を願って止みません。

令和3年度 福田南中学校区人権学習推進委員会					
会長	折田 宗市	委員	片山 かんな	委員	松井 俊彦
副会長	大島 十字	"	手島 義明	"	鳥越 誠
"	江越 大輔	"	藤井 住雄	"	田中 昭義
"	瀬尾 浩子	"	渡邊 謙一	事務局長	浅野 充洋
"	小田 昌加	"	三宅 努	事務局員	吉田 敏之
監査	佐藤 裕子	"	尾越 雅彦	"	宮下 崇
"	江原 生悟	"	山口 三枝子	"	佐々木 信貴
委員	吉田 敬治	"	藤木 裕見子	"	濱田 守彦
"	稻角 恒子	"	阿部 祥子	"	脇本 貴子
"	乾 知樹	"	林 栄一	"	浅野 聖子
"	大森 輝彦	"	田中 博之	"	佐々木 美樹
"	岡田 公彦	"	阪本 猛		
"	小松原 賢久	"	橋野 秀男		

1年間よろしくお願ひいたします。

令和3年度 人権学習推進委員会総会

今年度も、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、書面表決にて実施させていただきました。総会の資料と議案を推進委員の皆さんへ送付し、昨年度の事業報告および決算報告を行い、今年度の議案については書面で賛否の意思表示をしていただきました。その結果、過半数以上の賛成をもちまして、本年度の事業計画案、予算案等のすべての議案が承認されました。また、推進委員の方々から貴重なご意見もいただきました。今後の参考にさせていただきます。

人権教育講演会

第一福田小学校PTA

9.8 (水)

演題「海ごみ(プラスチックごみ)問題から持続可能な社会を考える」
講師 水島財団 塩飽 研究員

9月8日(水)に水島財団の塩飽研究員を講師に迎え、「海ごみ(プラスチックごみ)問題から持続可能な社会を考える」という演題で教育講演会を開催いたしました。本年度はコロナ禍での対応のため、オンライン会議システムで実施し、6年生と保護者が視聴しました。海ごみの現状とともに、私たちがこれからできることについて大変分かりやすいお話をいただきました。児童は、「人間は様々な生物のバランスを考えていかなければなりません。」「他県から来た人が、水島はきれいで居心地がいいと思ってくれるように頑張っていきたい。」などの思いを強くしました。

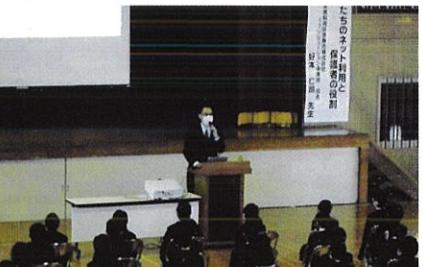


第三福田小学校PTA

12.2 (木)

演題「子どもたちのネット利用と保護者の役割」
講師 広島県教科用図書販売(株)
ITソリューション事業部部長 好本 仁朗 氏

5・6年児童、保護者、教職員、など約120名が参加しました。子どもの間にインターネットの利用が広がり、子どもが犯罪に巻き込まれたり、人権侵害に発展したりすることが社会問題化している現在、インターネットの怖さを知り、正しい利用方法について考えることをねらいとした講演でした。プレゼンテーションソフトや動画による説明が具体的だったので、児童はインターネットによる弊害についての理解を深めることができました。子どもにインターネット犯罪やいじめ等をしないように啓発することはもちろんですが、「子どものネット利用については保護者に管理責任がある。」と保護者に呼びかけていたことが印象深かったです。児童は何気なく行っているSNSの書き込みや写真のアップ、またゲームでのやり取りが重大な犯罪や人権侵害につながっていることを知り、講演会後には「よく考えてインターネットを利用しなければならない。」という多くの声が聞こえてきました。ネット利用について、自分のこととして問題を捉えることができた貴重な時間でした。



第一福田幼稚園PTA

11.18 (木)

演題「子育ての中で今大切にすること、大切にしておきたいこと～基本的生活習慣を通じて～」
講師 元倉敷市立公立幼稚園 園長 加藤 和子 氏

参加者の表情や領きから、「子育てのことで思い当たることが多々ある」ということが伝わってきました。子育てをする上で困っていることについての一つ一つの質問に対して、先生が教師として親として人としての経験から感じたことをありのままの言葉で語ってくださったのが印象的でした。子どもの中は甘えと反抗を繰り返します。「甘え」とは「依存」、「反抗」とは「自立」のことです。この二つを行き来しながら子どもの心は育っていくものです。しつけも勉強も大事だけれど、自分を肯定できる、生きていいいんだ、大切な人間なんだ、存在価値のある人間なんだという気持ちを子どもの心に育っていくことが一番大切だということが分かりました。



人権ふれあい交流活動

12.19 (日)

「子どもたちの社会参加を考える会」との交流会
フラワーアレンジメント 講師 大村恵美

【参加者の感想】

- ★作りながら会話が出来た事が良かった。
- ★リースをみんなで見せ合い、上手に作れた。
- ★楽しく夢中になって作ることが出来ました。
- ★お互いにアドバイスしながら、楽しく作れました。
- ★初めての方とも、楽しく会話が出来ました。



人権教育講演会

福田南公民館

12.5 (日)

演題「音楽で免疫力アップ!
～感染症に打ち勝つ生き生きした生活を取り戻すために～」
講師 岡山県健康づくり財団
保健部長 岸本 寿男 氏

【参加者の感想】

- ★尺八とギターが奏でる素敵な音楽のシャワーをたっぷりと全身に浴び、心も体も元気になりました。音楽とこれまで以上に上手につきあって免疫力を高め、このコロナ禍を乗り越えていきたいと思います。
- ★ストレスに対する音楽のもつ力がとても素晴らしいと思いました。
- ★コロナ禍でここ数年は殺伐とした毎日を送っています。今日のひと時で、心からリラックスできました。
- ★音楽を聴いて免疫力がアップすることは素晴らしいと思いました。困難な時代だからこそ、音楽を通して希望がもたら良いと思いました。





プロギタリスト 荒木博司氏とのコラボ演奏

私は、テレビで見た人種差別のニュースに衝撃を受け、インターネットで詳しく調べてみると、今までに起きた悲惨な事件がたくさん見つかった。特に印象に残ったのは、昨年五月にアメリカで起った警察官による黒人銃撃事件だ。黒人の名前を記したマスクを着けて、大会に出場したのだ。試合の度に、異なる名前のマスクを着けて試合に臨んだ大坂選手。私はこの行動にとても驚いた。同時に彼女の勇気に心を打たれ、自分の考えをしっかりと主張できることに憧れの気持ちを抱いた。世界中の人が同じ感想を持ったのだろう。その後、多くの著名人やアスリートが彼女の行動を支持し、エールを送ったのだ。

更にすごいと思ったのは、大坂選手の言葉だ。「自分では、たいしたことはしていないと思っている。私でできることのほんの一端でしかない。」この言葉を聞いて私は、心から彼女を尊敬し、自分もこんなになりたいと思った。小学生のころの私は、友達の考え方やその場の雰囲気に流されがちな子どもだった。周りの人に対して、偏見をもつことも多かつた。第一印象だけで、仲良くなれないと思ったこともあった。そのことを今ではとても後悔している。これからは、そんなことはやめたいし、他の人がそんなことをしていたら注意してあげたい。大坂選手のような有名人ではないし、大きな勇気を持っているわけでもないが、私にもできることがあるはずだ。辛い思いをしている人に寄り添うこともその一つだと思う。

差別はいけないことだ。誰もが分かっている。それなのに、差別が原因で命に関わるような事件までが起きてしまう。大坂選手の抗議行動を二度と見ないですむように、差別のない社会をみんなで作っていきたいと思う。

人
権
作
文

倉敷市立福田南中学校 三年三宅 乃愛